



小路正和県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

外房地域の発展に不可欠

高規格道路の整備を

住み良いふるさとづくりに力を注いでいる小路正和県議(いすみ市選出、2期)は6月県議会にて登壇し、「一般質問を行いました」。「外房地域の高規格道路の整備は切実な夢」と話す小路県議は、「茂原・一宮・大原道路」と「鴨川・大原道路」の2つの高規格道路計画の進捗状況を質問、また、いすみ市沖に計画されている洋上発電については、漁業者の意見をしっかりと聞いて事業を進めるよう要望しました。小路県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。



6月定例会議会で一般質問を行う小路正和県議

6月定例会議会一般質問

小路議員 外房地域における観光振興や地域の活性化を図るとともに、防災力を強化していくためには、現在、整備が進められてい

る長生グリーンラインに続く高規格道路についても、整備に向けて取り組む必要があると考える。そこでうかがうが、茂原・

一宮・大原道路及び「鴨川・大原道路」の取り組み状況はどうか。 県土整備部長 圏央道の整備効果を外房地域へ広く

波及させるためには「茂原・一宮・大原道路」や「鴨川・大原道路」などの外房地域の骨格を形成する道路の整備が重要であると認識して

落合川浚渫で溢水阻止

小路議員 落合川流域における浸水被害を受け、県の対応状況はどうか。 知事 令和3年の浸水被害を受け、県と地元いすみ市で落合川流域浸水対策調整会議を立ち上げ、昨年度末までにハード・ソフト両面からの対策について、取りまとめたところだ。

ハード対策として、落合川の流下能力を確保するため、夷隅川合流点から佐室付近までの約5.4キロメートル、本年8月末までに河道内に繁茂する竹木の伐採を完了させるよう進めており、その後、浚渫を実施します。

また、ソフト対策として、本年3月に防災行動計画を策定し、避難体制の強化を図っており、今年度は監視体制の強化のため、危機管

波及させるためには「茂原・一宮・大原道路」や「鴨川・大原道路」などの外房地域の骨格を形成する道路の整備が重要であると認識して

また、鴨川・大原間の道路については、沿線市の地域特性や交通課題等の抽出・整理を行っているところであり、引き続き、優先整備区間の検討を進めてま

県外から生徒募集 大原高でも検討を

小路議員 大原高校の県外からの生徒募集について検討する必要があると思うがどうか。 教育長 大原高校については、海洋科学、生活福祉園芸などの特色ある系列からなる総合学科を設置しており、県内全域を通学区として生徒募集を行っています。

郡部において少子化が進む中で、県立高校において、

「県立高校改革推進プラン」では、千葉県の特性を生かした水産系の学科において柔軟な生徒募集を検討することとしており、他県の先進例を調査するなど、

地域の自然や産業特性などを活用した特色ある学びを一層推進するとともに、こうした魅力を生かして県内外を問わず幅広く生徒募集を行うことも有効であると考えます。

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

小路正和 県議事務所
〒298-0004 千葉県いすみ市大原8654
TEL・FAX 0470-62-5802

再質問

研究を進めているところです。 小路議員 県立高校の生徒募集については、県内県外を問わず幅広く生徒を受け入れるための取り組みについて研究してくれているとのことだが、その際の課題として、どのようなことがあげられるか。 教育長 県内他地域や県外からの生徒の募集を行うためには、各高校の特色を生かした魅力づくりを二層推進し、その魅力を様々な手法で幅広く広報すること、また、自宅からの通学が困難な生徒の居住先を確保することなどが課題であると考えています。

いすみ市沖

好漁場に洋上発電

漁業者の声傾聴を

小路議員 いすみ市沖への洋上発電について、協議会が開催されるなど、導入に向けたステップが着実に進められている。

当該区域は「外房イセエビ」「いすみ産真鯛」太東・大原産真鯛などが漁獲される日本有数の漁場であり、風車が立つことによって影響を受ける地元の漁業者の声をしっかりと聞いて、手続きを進めていく必要がある。

そこでうかがうが、いすみ市沖の洋上風力発電にかかる協議会の状況と今後の見通しはどうか。

商工労働部長 協議会では、地元関係者の意向を踏まえた地域振興策の実施を期待する意見のほか、いすみ市沖には器械根と呼ばれる好漁場があることから、風車の配置に十分な配慮を求め、漁業者の意見や、漁業はいすみ市の基幹産業でもあるため、事業を進めるに当たっては、漁業者との丁寧な協議を行ってほしいなどの意見がありました。

マスク着用ケース 提示し県民に周知

小路議員 国や県から発表されたマスク着用の考え方について、県民に分かりやすく説明していただく必要があると思うがどうか。

保健医療担当部長 マスクについては、これから夏季に向けて熱中症のリスクが高まることや児童の発達にも影響する可能性が指摘されていることを踏まえ、状況に応じてマスクを着ける、着けないを県民の皆様が判断していただくことが重要であると認識しています。

そこで県では、屋外においてマスクを活動できる場合について、具体的な事例などを提示し、県民に呼びかけるとともに、幅広く理解していただけるよう、市町村保育所をはじめ各種業界団

体などを通じて周知を行ったところ。

小路議員 マスクの着用については、地域で様々な意見があるため、県民が混乱しないよう、また、子どもたちにも伝わるよう、県において積極的に周知を図るよう要望します。

小路議員 不妊治療の保険適用で経済的負担はどのようになるのか。

健康福祉部長 不妊治療については、子どもをもちたいという方々が安心して治療を受けられるよう、令和4年4月から、人工受精や体外受精など有効性や安全性が確認された基本治療が

保険で不妊治療 オンライン相談開始

小路議員 不妊治療の保険適用とされました。これにより、窓口での負担が10割から3割になるとともに、治療費が高額となつた場合には、高額療養費制度の対象となります。

小路議員 不妊に悩む男女への精神的支援はどうか。

健康福祉部長 不妊に悩む方への精神的な支援について、各保健所における対面や電話での相談のほか、令和2年10月から、ウエブ会議システムを利用した「不妊・不育オンライン相談」を行っています。

県と市町村分担し 有害鳥獣を捕獲

ただきたい。また、公募入札において、地域振興策の加点をより大きくできるよう国に要望していただきたい。

小路議員 有害鳥獣の捕獲に向け、県と市町村はどのように連携しているのか。

環境生活部長 本県においては、地域の実情に詳しい市町村が、生息密度の高い地域での捕獲を実施し、県は、生息密度が比較的低い、分布外縁部での捕獲を行っています。

また、県では、市町村が実施する捕獲事業の強化を図るため、捕獲数に応じた補助金等の交付を行うほか、わなの購入経費等に対する助成や、市町村の捕獲従事者を対象にした研修等を実施しています。

小路議員 有害鳥獣対策の新たな担い手確保のた

め、県はどのように取り組んでいるのか。

知事 県では、新たな狩猟免許取得者の確保に向け、狩猟に興味を持つ若者などを対象に「新人ハンター入門セミナー」を開催し、動画配信による狩猟講座、先輩ハンターとの交流や狩猟模擬体験などを行っています。

浄化槽検査の受検拡大必要

小路議員 浄化槽法第7条に基づき検査について、設置工事に関わる民間事業者への周知はどのように行っているのか。また、受検拡大に向けて、さらなる周知に取り組むべきと思うがどうか。

環境生活部長 県では、浄化槽の工事業者や保守点検業者を通じてリーフレットを配付するなどにより、検査を受けるよう促しています。

他方で、浄化槽付きの建売住宅が販売される場合などには、購入者は、住宅建設業者や不動産業者との間で契約手続を行うことから、その際に、これらの事業者から購入者に検査の周知をしていただくことで、受検促進につながることを期待されます。

そのため、今後、県として建設業者や不動産業者の団体にに対し、会員企業を通じて検査制度の周知について協力を求めるなどにより、一層の受検拡大に取り組んでまいります。

フェーズフリー

小路議員 フェーズフリーの考えの県民への周知・啓発のための取り組みはどうか。

防災危機管理部長 普段にも使用するというフェーズフリーの考え方が広まることは、県民の災害への意識が高まるなど、本県の防災力向上に資するものと考えます。

このため、県では、家庭でできる取り組みとして、日頃から食料品や日用品を少し多めに購入しておき、使った分を補充していくローリングストックなど、フェーズフリーの考え方に沿った取り組みについて、ラジオや防災ポータルサイト等を活用し、周知してまいります。

また、今後は、県猟友会をはじめ、知事が「認定鳥獣捕獲等事業者」として認められた企業や団体等の活用や、地域ぐるみで捕獲に取り組む体制の構築を進め、様々な人材に有害鳥獣対策を担っていただけるよう取り組んでまいります。

フェーズフリーの考え方を取り入れた施策がオール県庁で取り組み、フェーズフリー先進県イコール防災先進県として、防災対策をはじめとする様々な施策を推進していただくよう強く要望します。